

第4章

農林水産業・農山漁村の
展開方向

〔4つの基本施策〕

「The・おおいた」ブランドをつくっていくためには、生産物の安全性や品質の保証、消費者ニーズを満たす多様性、効率的な生産体制、地域資源を活用した付加価値の創造、消費者との信頼関係を確立する交流、清潔で美しい環境づくり等の様々な取り組みが必要です。また、本県農林水産業を将来にわたって持続・発展させるためには、構造改革を進めていくことが重要です。

この計画では、「The・おおいた」ブランドを確かなものとし、「知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業」「元気で魅力ある農山漁村」を実現するため、4つの基本施策を計画的、体系的に展開していきます。

I

「The・おおいた」ブランド確立に向けた商品（もの）づくり

消費者ニーズを的確に捉え、流通の多様化に対応しながら、安全で質が高く、競争力のある農林水産物を県内外に安定的に供給できる産地づくりに取り組み、「The・おおいた」ブランドとなる商品（もの）づくりを進めます。

II

次代を担う力強い経営体づくり

集落営農法人や農業企業者、認定林業事業者、中核的漁業者等の本県農林水産業の担い手を支援するシステムを強化し、力強い経営体を確保・育成するなど、構造改革を促進します。

III

効率的で持続性のある生産基盤・環境づくり

農林水産業が将来にわたって持続できるよう、効率的な生産体制の構築や施設の長寿命化などに取り組むとともに、農山漁村の持つ多面的機能を発揮できるよう環境の整備を推進します。

IV

地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出

本県の潜在的な地域資源を活用し、食品加工業、流通業、観光産業など他産業とも連携しながら、農林水産業の6次産業化を進めます。

〔施策体系〕

I 「The・おおいた」ブランド確立に向けた商品（もの）づくり

1 安全・安心な商品づくり

- 1 安全・安心な商品づくり (P.26)

2 多様なニーズに対応した新たな展開

- 1 流通の多チャンネル化による市場競争力の強化 (P.28)
- 2 地産地消の推進 (P.32)

3 大分の顔となる品目づくり

- 1 園芸 (P.34)
- 2 米・麦・大豆 (P.36)
- 3 畜産 (P.38)
- 4 特用農林産（しいたけ・茶）(P.42)
- 5 県産材 (P.44)
- 6 水産物 (P.46)

II 次代を担う力強い経営体づくり

1 力強い経営体づくり

- 1 中核的な経営体の育成 (P.48)
- 2 地域の組織的担い手の育成 (P.50)
- 3 新たな経営体の確保・育成 (P.52)

2 支援システムの強化

- 1 高度技術の開発と生産現場への技術支援 (P.54)
- 2 関係団体の機能強化 (P.56)
- 3 経営安定対策の充実 (P.58)

III 効率的で持続性のある生産基盤・環境づくり

1 効率的で持続性のある生産体制の確立と多面的機能の発揮

- 1 力強い経営体を支える基盤整備の推進 (P.60)
- 2 地域ぐるみの協働活動による農村資源の保全 (P.62)
- 3 森林の持つ公益的機能の持続的な発揮 (P.64)
- 4 木材生産力の強化 (P.66)
- 5 資源管理の強化と新たな地域・魚種での養殖業の展開 (P.68)
- 6 水域環境の保全・再生 (P.70)

2 定住・生活環境の整備

- 1 農山漁村の快適な生活環境づくり (P.72)
- 2 鳥獣害対策の強化 (P.74)
- 3 災害に強い農山漁村づくり (P.76)

IV 地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出

1 付加価値を高める農林水産業の新しい展開

- 1 産業・地域間の多様な連携による6次産業化の推進 (P.78)
- 2 再生可能エネルギー等の利活用 (P.80)
- 3 農山漁村と都市との共生 (P.82)

農業

林業

水産

【おおいた農山漁村活性化戦略の主な取組】

I 「The・おおいた」ブランド確立に向けた商品（もの）づくり

安全・安心で消費者や市場のニーズに的確に応える商品を創出

1 安全・安心な商品づくり

- ① 安全・安心な県産品の生産拡大と生産・流通・加工段階における安全管理体制の整備
- ② 環境にやさしい生産方式の普及推進

2 多様なニーズに対応した新たな展開

- ① 消費者ニーズに対応した生産体制の確立と集出荷機能の強化
- ② 原木流通の低コスト化と県産材の県外出荷体制の構築
- ③ 水産物の新規販路開拓に対する支援
- ④ 東アジア圏を中心とした輸出の拡大
- ⑤ 地産地消運動の普及定着と県産品の消費拡大

3 大分の顔となる品目づくり

- ① 園芸戦略品目の産出額向上
(トマト、白ねぎ、いちご、こねぎ、にら、ピーマン、カボス、なし、ハウスみかん、トルコギキョウ、バラ、キク)
- ② 低コストで効率的な生産体制による売れる米づくりと実需に結びつく麦・大豆生産
- ③ 肉用牛の増頭と市場評価の高い子牛生産による豊後牛のブランド力強化
- ④ 産地認証による安全・安心な「大分乾しいたけ」の拡大
- ⑤ 大分方式乾燥材の生産拡大と県産材の需要拡大
- ⑥ 「The・おおいた」ブランドチャレンジ魚種の販路拡大
(養殖ブリ、養殖ヒラメ、タチウオ、マダイ、まき網のマアジ・マサバ、ハモ)

II 次代を担う力強い経営体づくり

将来にわたり持続的かつ安定的な経営体の構築

1 力強い経営体づくり

- ① 担い手の明確化と施策の重点化による安定した経営が展開できる担い手の確保・育成
- ② 集落営農組織の法人化・経営発展により、継続性のある地域の担い手として育成
- ③ 効率的な林業生産・森林整備を担う認定林業事業体の育成
- ④ 就業希望者の知識・経験に応じた支援による、新たな担い手の確保・育成

2 支援システムの強化

- ① 高度技術の開発と生産者への技術支援活動による広域産地づくりの推進
- ② 生産者や農山漁村の活性化に向けた関係団体の機能強化
- ③ 経営安定に向けた融資制度や価格安定制度、災害補償制度などの支援の充実

III 効率的で持続性のある生産基盤・環境づくり

効率的な生産体制の確立と農林水産業の多面的機能の発揮とともに、災害に強く快適な

1 効率的で持続性のある生産体制の確立と多面的機能の発揮

- ① 低コストで効率的な農業生産基盤づくりの推進
- ② 安定的な農業生産を支える農業水利施設の効率的な更新整備の支援
- ③ 森林の公益的機能の維持と木材生産機能の増進
- ④ 資源管理の強化や新たな養殖業の展開と水域環境の保全・再生



IV 地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出

付加価値を高める農林水産業の新しい展開

1 産業・地域間の多様な連携による6次産業化の推進

- ① 地域資源の発掘と産業間連携によるビジネスプランづくりの支援、農林漁業者等による6次産業化の推進
- ② 産学官連携や農商工連携による新たな商品・技術開発と販売戦略の支援

2 再生可能エネルギー等の利活用

- ① 耕畜連携や木質資源の利用などによる資源循環型連携システムの推進
- ② 農業水利施設を活用した小水力発電の推進

3 農山漁村と都市との共生

- ① 地域住民主体の交流活動体制づくりの支援
- ② 農業文化公園、マリンカルチャーセンターなど交流拠点の利用促進と情報発信機能の強化
- ③ 農山漁村ツーリズムの推進

「Thee・おおいた」ブランドの確立

知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業・元気で魅力ある農山漁村の実現

農山漁村を構築

2 定住・生活環境の整備

- ① 美しい景観に配慮した生産基盤の整備と地域の伝統文化の継承・発展の支援
- ② 鳥獣害対策の強化
- ③ 災害に強い農山漁村づくり

農業

林業

水産